

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(宿泊研修香川報告)
- ・徳島県職員地域交流体験研修
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

199号/2022 ▶ Since 1984

「作業はしたくないという自由」

杉浦 良

「さぼっとる、さぼっとる・・・」そうオウム返しにつぶやいたAさんに、Bさんが切れましました。

「・・・うるっさいわ！・・・お前に言われたくないわ！・・・黙っとれ！」そう叫びながら、AさんにつかみかかったBさん。その迫力に動転し、パニックになりかかったAさん。間に入ったスタッフが引き離し、お互いをなだめています。

「どうしたん？何があったん？」そんな問いに「・・・作業しとらんやつに、さぼっとる、さぼっとると・・・何で言われんといかんのや！」とBさんは息まきます。

「・・・それってスタッフCが『・・・Bさん・・・作業せんとさぼっとったらあかんわ・・・』と言ったことを、真似しただけと違うん？・・・Aさんがほんとにそう思ったことと違うんじゃないの？・・・」



県職員地域交流体験研修

カッとなったBさんのテンションが下がってきたのを見計らって、椅子に座ってもらいました。

「Bさんの時給とAさんの時給は一緒じゃないよ！・・・ホワイトボードの横にみんなの今の時給が書いてあるやろ？・・・時給の高い人と低い人と同じ仕事ぶりだったら、反対に低い人が怒るんってちがう？高い人の給料を下げるか、低い人の給料を上げるかせんといかんと思うけど・・・」「・・・Aは作業せんでも100円。オレはちゃんとやっても倍はいかんし・・・」

「じゃあAさんの時給がいくら位だったら、腹が立たんの？・・・納得できるん？・・・」

「・・・そんなん言われても・・・すぐには分らん・・・」そう頭を掻きながらキョロキョロしだす、いつものBさんがいました。

「・・・じゃあ90円だったら？」表情が硬いままで。「・・・80円はどう？」反応がありません。「・・・そんなら半分の50円だったら？」パッと表情に変化が現れました。

「・・・もしAさんの時給が50円だったら『さぼっとる、さぼっとる』と言われても、しゃあないなと、聞き流せる？」

「・・・まあ50円だったらしょうがないか・・・」そう口ごもるBさんです。

落としどころが見えてきたところで、今度はAさんです。

「・・・Bさんがこの前怒鳴ったなあ・・・びっくりしたなあ・・・何もAさんが悪いわけではないんよ・・・でも『作業を何んにもせんと時給が100円はおかしい！』と言うんよ・・・Aさんも『作業してよ！』と言われるのはイヤだろ？あんまり言われるとパニックになるなあ・・・今まで作業が全くできなくても100円にしてきたけど・・・作業がどうしてもやりたくないなら、半分の50円にしてもいい？・・・もし少しでもいいから、前のようにウエスでいろいろ磨いてくれたら100円にするけど・・・」そんな言葉にAさんの表情は変わりません。

「・・・作業するのはイヤ？・・・」目線に動きがあり「・・・イヤ・・・」と言葉が続きます。

「そうか・・・じゃあ・・・50円にするけど・・・それでイイ？」「・・・イイ・・・」Aさんは小さく頷きました。

「・・・もし少しでも磨き作業をしてもいいなら・・・元の100円に戻すから・・・その時は言っただよ？・・・分かった？・・・」ニヤッと表情を変えて、うなづくAさんがいました。

今まで長い間、メンバー時給を100円から最低賃金（徳島）までの幅を持たせてきましたが、少し前から、50円から最低賃金（徳島）までと改めました。（会話の部分は半年ほど時間をかけてBさんAさん、そして朝ミーティングで他のメンバーたちにも話してきたことを、私なりに言葉化したものです）

お知らせ

宿泊研修 in 香川 報告

令和4年11月7日(月)8日(火)、公益財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計23名が参加して、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を香川県で行いました。

新型コロナ禍で前年度中止を余儀なくされた、NEWレオマワールドと香川県丸亀市のNPO法人SAJAたんぼぼに行くことが出来ました。

丸亀市で精神病院のPSWとして勤務していた西谷さん(現四国学院大学社会福祉学部教授)が、家族会作りや作業所作りにもエネルギーを注ぎ、無認可作業所「たんぼぼ」を立ち上げました。病院以外に頼る場所が無かった保護者の方々、そして病院以外に居場所が無かった患者さん、制度もお金も無い中で、色々な方々が身を削り今に続く活動がありました。

「そんな昔話は聞けるうちに聞こう！」と西谷教授(令和4年5月まで理事長、現副理事長)と村井所長(現理事長)の話聞かせてもらいました。中身の濃いお話とたんぼぼの見学、そして通ってくるメンバーの話も聞きながら、併設された駄菓子コーナーで買い物もしました。

わざわざ時間を取って頂いた西谷先生、村井所長さん、たんぼぼの皆さん、そして藤西阿観光の永楽さん、長年お付き合い下さっている運転手の近藤さん、有難う御座いました。

徳島県職員 地域交流体験研修

10月17日、18日と2日間に渡り、徳島県職員4名の皆様が「地域交流体験研修」で当会に来られ、当会作業所の様々なハンディを持ったメンバーさんと一緒に作業をして下さいました。

初日の午前中は代表杉浦によるパワーポイントを使っての活動説明、午後と2日目の午前午後に作業体験。例年通りのプログラムですが、参加される方のキャラクターによって、毎年雰囲気はずいぶん異なります。

終了後、名残惜しそうに皆様を見送るメンバーKさんの姿が印象的でした。

参加して下さいました県職員の皆様、ありがとうございました。

来所見学

10月13日朝、(株)アビズの田畑さんと(株)モリオトの森実さん、とくしま障がい者就労支援協議会の三橋副理事長と事務局の吉田さんが太陽と緑の会リサイクル作業所を見学に来られました。

名古屋市で廃自動車等のリサイクルを大々的に行う(株)アビズさんと、四国中央市で機密情報処理も完璧に対応できる古紙リサイクル事業を展開される(株)モリオトさん。熱心に当会の活動も見学されました。軸足は異なりますが、民間事業者の熱意のある目線を感じさせて頂きました。三橋副理事長と事務局の吉田さん、有難う御座いました。

地域交流体験研修レポートより

徳島県職員地域交流体験研修に参加して下さった皆様からレポートが届きました。一部抜粋してご紹介させて頂けたらと思います。

「私は、福祉は支援を受ける方と支援をする方に分かれており、支援を受ける方がより手厚い支援を受けられるような環境を整えていくことが必要なのではないかと思っていました。しかし、太陽と緑の会の皆さんは、支援を受ける側・支援をする側に分かれていたり、一方向に支援されているのではなく、活動の中でメンバーの皆さんのできることは隣で一緒にし、見守りながら、長期的な視点でメンバーの皆さんと共に活動されていました。どのメンバーの方も私が分からないことを聞くと丁寧に教えてくださったり、手伝ってくださる等、多くの場面で助けていただき、福祉＝支援ではなく、福祉＝共により良い環境をつくることなのだと感じました。」

「太陽と緑の会で研修させていただいて、そこで働くメンバーさんたちが、それぞれの望むかたちでそれぞれができることをしている姿や、それができる太陽と緑の会の環境がとても印象的であった。必ずしも決められた仕事を全員がするのではなく、個々の出来ること出来ないことをしっかりとスタッフさんが把握して、それぞれのメンバーさんにあった内容の作業を提案していた。」

「研修作業においては、様々な障がいをもったメンバーがいたが、互いに支えあい難しい部分を職員が対応するといった作業形態であり、決してメンバーを1人に孤立させないこと、一つの作業を皆で助け合い、それぞれ自分のできる役割をこなす仕組みを、この「太陽と緑の会」は長い年月をかけて構築されており、お互いを思いやる行動は非常に重要であることの大切さを改めて考えさせられた。」



地域交流体験研修 靴の値下げ作業

NPO法人太陽と緑の会 定休日

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2022年9月18日～2022年11月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

村上、筒井

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○木下、松下、山田、加島、谷、石本、中村、福山、小山、岸、八二ブチ、東條、長尾、土内、大西、川真田、板東、麻植、松本、春藤、阿瀬川、川尻、鈴木、西浦、後藤、檜原、沖津、大島、菅生、マツダイラ、那賀川、楠本、石川、佐藤、森、近藤、盛、犬伏、ほり、津田、張、姫野、藤川、升山、福島、栗林、松浦、中川、松本、中西、カワカミ、中野、森、中井、田村、徳永、清水、月岡、美濃、上田、南無なむ堂、梯、吉田、山口、栗林、四宮、林、渡辺、岡本、多田、美馬、岩本、藤崎、エンドウ、庄野、福山、笠井、小田、山本、加川、四方、笠城、武田、福田、伝住、小島、森友、池田、河口、森下、立石、勝瀬、玉川、米原、阿部、山内、夏木、河野、住友、美記、織田、清重、鍛谷、三浦、西、藤本、加茂、飯尾、平井、亀谷、野崎、青井、福田、高橋、丸鬼、加島、杉本、坂東、田中、森下、小林、中野、藤岡、川西、榎本、武田、佐々木、小倉、八木、森西、國本、川田、築山、檜下、椎野、岸本、藤田、松浦、阿部、前田、大古、三津田、東口、まゆやま学苑 朝長、原田、富永、照本、川口、ウィークス佐和、杉本、今津、渡辺、服部、大栗、大下、松田、藤坂、大代、瀬戸、加本、佐々木、小川、庄野、織田、片側、清水、南、和田、山川、山内、森川、赤堀、マイケル、関東、向井、尾方、小島、西山、カワカミ、岡田、木内、丹羽、北村、キモト、鈴江、藤本、中石、木村、三木、松永、マツシタ、加川、笠城、浜田、橋本、奥藤、小倉、松尾、熊川、篠原、岩本、花井、平野、岸本、西岡、松下、池北、野崎、梅本、原、檜本、瀬戸、ササダ、川口、藤吉、赤木、鈴田、原、簗手、山添、中野、松田、佐藤、山下、橋本、森岡、松浦、藤井、武市、多田、三好、楠本、細井、ツダ、坂東、松下、元木、寺岡、福留、秋山、宮田、大久保、戎井、クリモト、大宮、樋上、徳永、河野、ミマ、矢本、香川、近住、団、飛梅、堀、喜羽、青木、桑原、杉田、喜多、太田、笠井、六田、山田、片山、上野、木下、福井、富永、小林、小原、佐々木、斉藤、橋本、西森、堂谷、河田、桂、笹田、西田、相根、福原、柳井、大上、岡本、濱田、カキモト、池口、竹内、古川、笠原、堀川、斉藤、久米川、蟻井、梅原、松井、柿下、山中、



昼食の味噌汁作り。市民の皆様から頂いたお野菜も活用させて頂いております。



地域交流体験研修 頂いたお品物の仕分け

河村、松田、女性グループ すいーぷ、岩瀬、中村、中井、小山、猪俣、桑原、山崎、北井、森野、河崎、安喜、滝川、西、月岡、島田、大代、キシ、本城、七城、井内、フクイ、大林、鎌田、芝田、林、南、吉川、吉本、小池、永田、岩橋、下山、福山、棚上、岩田、箕手、藤井、網野、岩崎、大坂、釜谷、前林○小松島市○藤川、前須、岩本、柳本、川井、大林○藍住町○山本、庄野、中村、蔭山、坂東、逢坂、熊本、三好、浅川、青木、井出、森内、堀内、山本、菅井、三木、山橋、掌田○石井町○坂本、西浦、佐々木、高橋、藤井、土肥、富山、中村、三河、吉田、西村、西岡、盛、岡田、森、高橋、塩田、筒井、吉本、児島、梶、西前、矢野、鈴木、宮田、奥浦、三木、寺澤○吉野川市○鈴木、山本、後藤田、住友、米澤、小原、上村、松本、島田、石井、川真田、麻植、櫻木、太田、櫻井、佐藤、岡田、川原、刈谷、益田○北島町○山本、サガワ、嶋、富永、大西、松家、石山、富永、工藤、岡崎、橋本、長田、北島○鳴門市○浦川、吉成、山本、中林、渡辺、東、若松、林、疋田、東條、高田、安芸、植町、西口、佐野、坂東、大西、高瀬、山田、広田、近藤、馬淵、佐野、吉村、高松、タケウチ○上板町○安岡、櫻木、世戸、広瀬○阿南市○林、松内、中野、松内、小濱○つるぎ町○山下○神山町○香川、向井、後藤田、XAVIER、後藤○美馬市○高木、村岡○板野町○赤沢、三木、福井、岩下、石井、堤、山口○東みよし町○立花○佐那河内村○嵯峨、宮丸○阿波市○曾我部、石井、和田、河野、川崎、妹尾○松茂町○朝井、細澤、鈴江○三好市○森○東京都○武市、蒲田、瀧倉○福岡県○永峰○香川県○佃、水田○大阪府○藤田○京都府○木村、井上、吉田○静岡県○杉本○兵庫県○三浦

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○森上、盛、鈴江、矢部、河崎、竹内、増田、山部、竹村不動産、中田、西浦、曾我部、西口、まんがや、谷、岡、田村、姫野、喜多、吉川、相原、平田、牧本、楠根、豊川、出口、大槲内科、堀、幸田、吉岡、松村、服部、宮村、上野、吉見、宇治製菓、橋本、近藤、伊世、大橋、村本、島中、井原、榎本、浅尾、榎山、井上、西川、箕手、濱、戸村、天羽、岡田、リスカ、佐々木、山本、上藤、山下、光野、宮越、安芸、近藤、仁木、吉田、清崎、高橋、田中、松崎、松下、山西、岩佐、川崎、あわっこ、川野、(株)マイオール、穴吹ハウジング(北川)、(大山)、天野、サカイ、阿波銀住友生命ビル(斉藤)、中島、岡本、河野、西谷、梶田、飯島、久岡、土肥、高野、トミモト、元山、クレエール 原田、夏木、日淺、松永、長野、美馬、コートダジュール虹の橋、坂本、稲見、増田、雑賀、正城、藤田、福島、高砂、尾上、村上、河原、美馬、笹原、佐藤、新居、長野、三木、成松、日浦、佐川、谷川、大泉、阿部、中村、石塚、眞家、藍野、杉本、大北、吉村、消防試験研究センター 谷口、徳島市身体障害者連絡会、早瀬、前田、中西、日の出たんぼぼ、大垣、松田、山野、大高、崇広、近藤、辻、藤井、林、岡久、岩本、谷、中野、伊藤、栗林、鎌田、川人、八木、西川、大原、長尾、大西、松崎、小野木○石井町○阿部、井上、松山、三木、桑原○上板町○NIKKO 上板イオンタウン店(大石)、吉田○北島町○ノダ、宮崎○小松島市○橋本、太田、木下、中村、栗本、赤岩、西、吉田○鳴門市○八木、大和、新田、村越、久龍、川口、中島○板野町○稲垣、谷口、藤井、上田○藍住町○林、大井川、亀井、於田、富永、中川、阿部、高橋、漁師茶屋 近海、安芸○松茂町○箱井、井川、中川、篠原○吉野川市○岡田、喜島、守松、北川、筒井、久次米

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

いつも「フードロスをなくすために」とまだ食べられる食材を持って来て下さる竹條様(浄土真宗のお寺(尊光寺等)の皆様を代表して)をはじめ、ミカン、お野菜、食材、お菓子、飲み物等を差し入れて下さった皆様も本当に有難うございました。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。

編集後記～切らない、分れない

今年も残すところあとわずかとなりました。新型コロナ禍も4年目に入り、リユース品の販売収入も最悪の状況からは脱しつつあるものの、コロナ前には遠く及びません。

通常の福祉施設であれば、「就労継続支援 A 型・B 型」といった制度を利用して利用者さん一人当たりいくらという形で公的資金をきちんと導入し、公的資金に軸足を置いた運営を行うのが一般的です。

ただ、太陽と緑の会はその制度を利用していないため、公的資金は運営費の約 18.5 パーセント、残りはリユース品の販売収入等で賄うという、福祉施設らしからぬ運営形態になっています。

太陽と緑の会はすでに「就労継続支援 A 型・B 型事業」に移行したとっておられる方も多いのですが、そうではありません。

相変わらず、太陽と緑の会リサイクル作業所は「地域活動支援センター III 型」、太陽と緑の会月の宮作業所は無認可の「小規模作業所(障害者地域共同作業所)」という

形で細々とやっております。

最初の頃は「A 型に移行すれば、今の何倍ものお金が行政からもらえるようになるのになんで移行しないの?」「活用できる制度は活用して、頂けるものは頂かないともったいないよ」と多くの皆様が助言して下さったのですが、今ではそのようなお話を耳にすることもなくなりました。

今後 5 年の防衛費を 43 兆円に増額、などという話が出ておりますが、この3年間で支出した莫大なコロナ対策費、進む高齢化の中で膨れ上がる社会保障費、など、財政は問題が山積です。

新型コロナもいつまで続くのか分からず、不透明な世の中ではありますが、公的資金になるべく軸足を置かないことを担保とし、支援する側される側という固定化した関係に囚われない、共に働く営みを続けていければ、と思っています。

今年も大変ありがとうございました。新年もよろしくお願ひ致します。(文責:小山)。

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立ていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054
代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田
宛名シール添付担当メンバー 堀
製本・発送作業担当メンバー 岡田

年会費: 正会員 1 万円 (総会議決権)

準会員 1,000 円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名: 特定非営利活動法人太陽と緑の会